

「新」コミュニケーション芸術プロジェクト 哲学 × ダンス

熊本開催
特別企画

▼ コンテンポラリーダンスワークショップ ▼ 哲学トーク

日 時： 2015年3月24日（火）

会 場： くまもと森都心プラザ

入場料： 500円（ワークショップ受講者は1,000円）

第1部

コンテンポラリーダンスワークショップ 18:30～19:40

講師： 苫野美亜

受講料： 1,000円

デモンストレーション

「欲望中心点変化ノ原理」

第2部

哲学トーク「哲学的に見るアートの秘密」 20:00～20:30

ゲスト： 苫野一徳（熊本大学講師）

「新」コミュニケーション芸術プロジェクトとは

ファッション業界、音楽業界、教育業界、IT業界、ダンス業界から、異なるジャンルの業界のスペシャリストが集まり共同で作品を制作。それぞれの業界を繋ぎ他のエッセンスを掛け算する仕組みをつくることを目的に、2014年8月に発足しました。2015年1月の東京公演を皮切りに、熊本ではコンテンポラリーダンスのワークショップを行います。ゲストに熊本大学講師の苫野一徳を迎え、ダンスとアートを哲学の目線から解説します。

助成： 熊本放送文化振興財団

主催・お問い合わせ： 新進プロジェクト実行委員会 miatomano@yahoo.co.jp

事業実施報告書

平成 27 年 5 月 12 日

所在地 横浜市港北区綱島西 2-2-21

氏名 苫野 美亜



企画名	「新」コミュニケーション芸術プロジェクト 哲学×ダンス		
開催日時	2015 年 3 月 24 日(火)		
主催	新進プロジェクト実行委員会		
会場	くまもと森都心プラザ 多目的室		
入場料金・券種	受講料 1000 円、入場 500 円	来場者数	21 名
《実施活動内容と成果》			
①クラシックバレエをベースとしたコンテンポラリーダンスワークショップを開催			
<p>熊本県内から多数の参加者が集まりました。ワークショップ風景を一般公開し、普段ダンスとの関わりが少ない方もダンスが構築される過程を間近にし、興味や関心を持って下さる機会になりました。ワークショップ受講生は、小学生から30代の方まで年齢層も幅広く、新たな身体表現の可能性を個々が見つめ直す機会となり、今後の自己のスタイルを築く上で大きなヒントとなる時間になりました。単発のワークショップに留まらず、今後も発展させていきたいと思えます。</p>			
②哲学トーク「哲学的にみるアートのお秘密」			
<p>2015 年 1 月に東京で初演した「欲望中心点変化ノ原理」をデモンストレーションとして上演。 熊本大学講師の苫野一徳氏をゲストに招き、難解なコンテンポラリーダンスを哲学の目線で解説しました。ダンス表現が具体的な言葉の投げかけにより、多角的な視点から芸術を捉える機会になりました。今回の最大の目的であった他のジャンルを繋げる試みは、来場者の年齢層も 10 代から 70 代と幅広く、また舞踊界や教育業界など普段交流のないジャンルが同じテーマを元に交流を持てたことが大きな成果であったと思えます。</p>			
その他特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定していたプラザホールでの開催に至るには集客が及ばず、また近距離で一人一人と密に関わり合える空間を大切にしたいと考え、多目的室で実施致しました。 ・プラザホールのキャンセル料、還付金の詳細を下記に記載しています。 ・熊本での開催が初めてであり、普段の拠点が横浜であるため宣伝広報に苦戦しました。今回確かな手応えと発展の可能性を感じることが出来、今後も上演を重ねたいと思えます。 			

収支決算書

収入の部

項目		決算額(円)	内訳(積算根拠)
①熊本放送文化財団からの助成		100,000	
入	② 入場料収入	16,000	
	当助成金以外の収		
小計		116,000	
③自己資金		43,942	
収入合計		159,942	

支出の部

項目		決算額(円)	内訳(積算根拠)
助成対象経費	出演費	30,000	講演料
	会場費	43,000	多目的室¥16,100、プラザホール¥26,900 (¥53,800-還付金¥26,900)
	付帯設備費	2,000	プロジェクター、音響費
	受付謝金	3,000	受付1人
	チラシ作成費	20,000	チラシデザイン料
	印刷費	4,450	200部印刷
	交通費	50,850	大阪～熊本往復¥169,50×2
	チラシ配送費	6,642	@¥82×81通
	小計	159,942	
	助成対象外経費	なし	
小計	159,942		